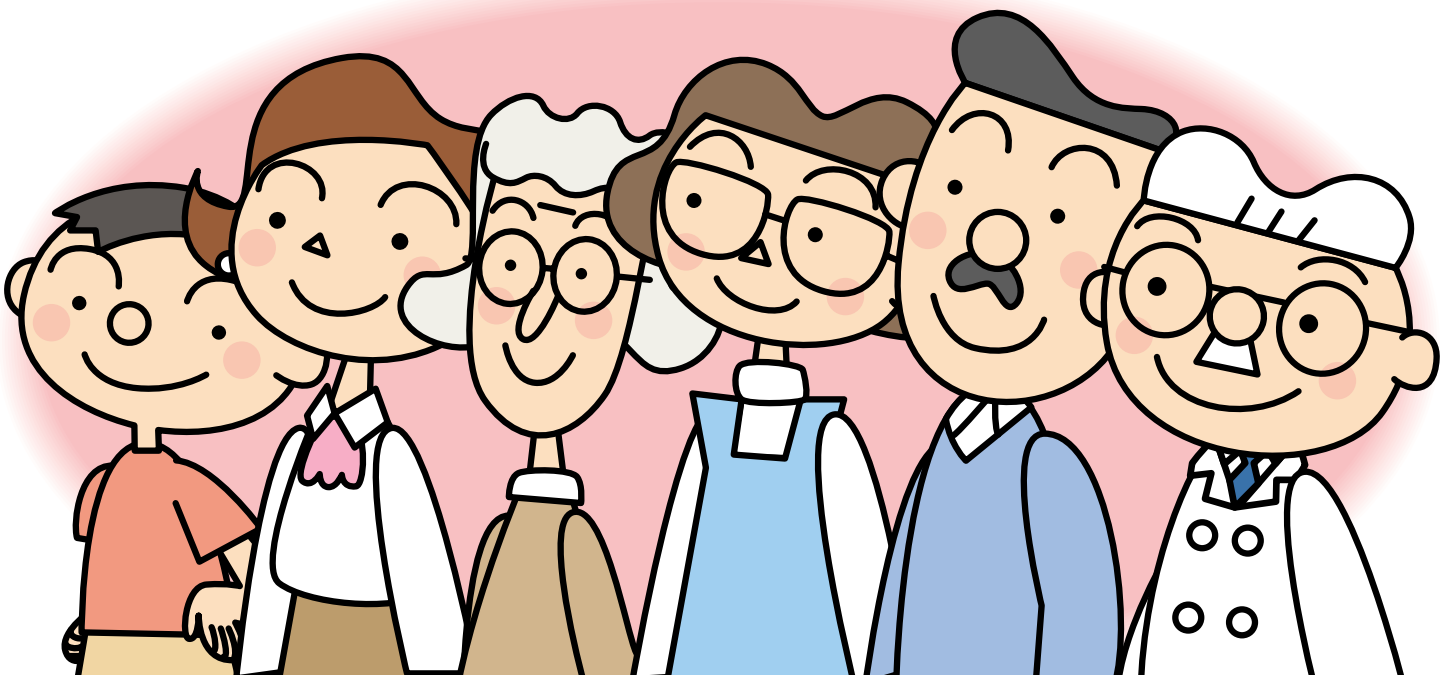


第4回東京都市圏パーソントリップ調査

東京としけんのあすの交通

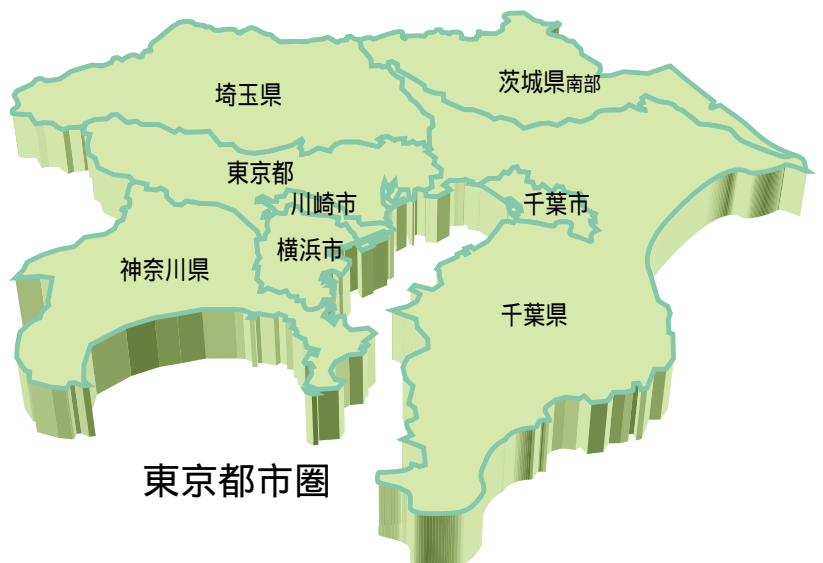
～「東京都市圏の望ましい総合都市交通体系のあり方」～



●このリーフレットは、

右の図に示す都県政令市、国土交通省関東地方整備局、都市基盤整備公団、日本道路公団、首都高速道路公団が協力して策定した「東京都市圏の望ましい総合都市交通体系のあり方」を紹介しています。

協議会は、20年後の東京都市圏の都市交通の状況を予測して、今後取り組むべき施策を、実現可能性を考慮してとりまとめました。本計画は、平成10年度に約88万人の方にご協力いただいた東京都市圏パーソントリップ調査の集計結果を活用した交通シミュレーションモデルに基づいて策定しました。また、昨年7月に公表した「中間のまとめ」に対していただいたご意見等もふまえて策定しています。

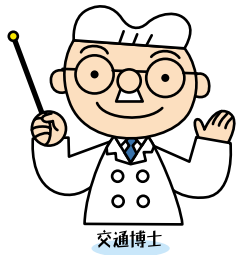


東京都市圏

平成13年4月

東京都市圏交通計画協議会

1 もし、何の対策もしなかったとしたら...



交通博士

20年後には、東京都市圏の人口は現在の約3400万人からおよそ3500万人～3700万人程度になり、高齢者の割合は約12%から約25%になると予想されておるんじゃ。これからもし、何の対策*もしなかったとしたら、将来、どんな交通問題が考えられるのかみてみよう。

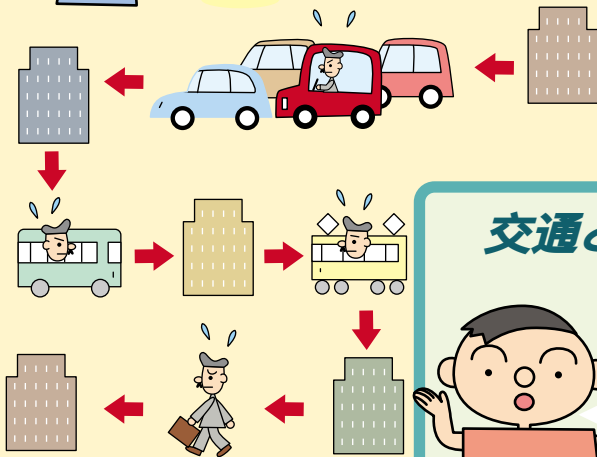
* 対策とは：道路や鉄道を新しくつくることや、その他の方法で道路や鉄道の混雑を減らす工夫をしたり、自動車の排気ガスを減らすような取り組み。

拠点間の移動の状況



お父さん
とき夫さん

毎日、仕事でいろいろなところへ行くから、移動が大変なんだよ。移動の時間が少しでも短くならないかな ...

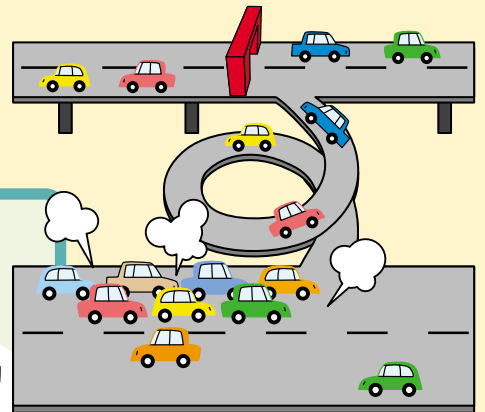


道路の状況

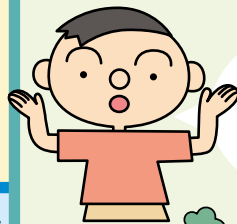


お姉さん
さい子さん

将来も自動車に乗る人が増えるのかな。今と同じ使い方をしていたら、インターチェンジや鉄道駅、空港などに行くのが大変になるんじゃないかしら ..



交通と環境の問題



弟
ちほ太くん

大きくなったら自動車に乗りたいけど、環境への影響が心配だな ...



災害時等の救助活動



お母さん
かな子さん

大きな災害が起こったときの、救助活動のことも考えておく必要があるんじゃないかしら ...

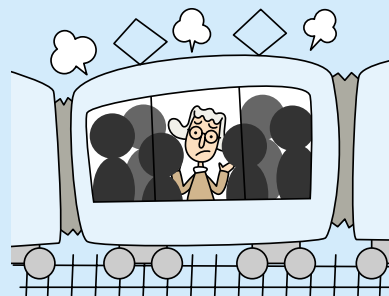


高齢者の移動



おぼあさん
いほ美さん

これからは、元気な高齢者が増えそうね。高齢者が安心して外出できるように対策が必要になるんじゃないかしら ...



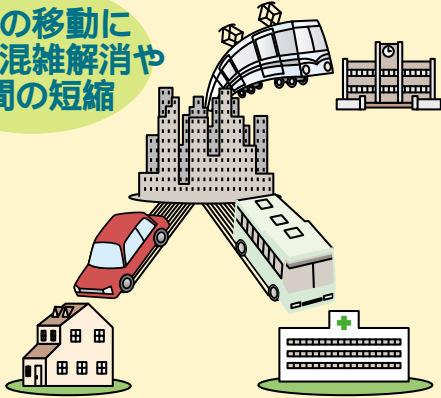
② 都市交通の3つの基本目標



将来考えられる交通問題を解決するために、次の3つの目標を達成させることが重要じゃ。

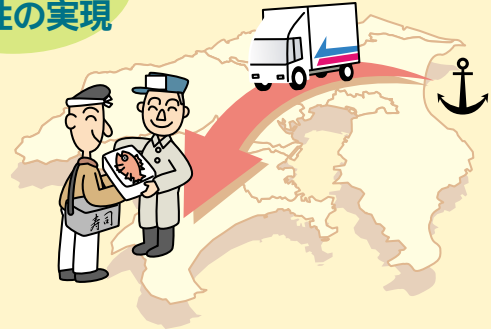
目標1. 東京都市圏の活力を支えるモビリティの向上

毎日の移動に
関わる混雑解消や
時間の短縮



毎日の通勤や買い物の際の交通渋滞等の混雑解消や
いつでもどこでもより速い移動の実現

産業や経済活動を支える
都市間移動の円滑化・
信頼性の実現



物流交通コストの削減への寄与など、持続的な経済活動・
産業活動の成長に資するような交通事業や対策

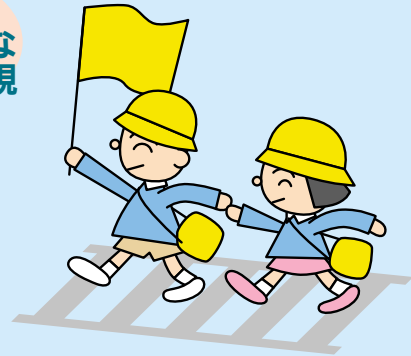
目標2. 安全で快適なくらしと交通の実現

高齢者を含めた
誰でも移動しやすい
交通の実現



お年寄りや体の不自由な方も含めて
誰もが快適に移動できるような交通の実現

交通事故が
すくない安全な
交通環境の実現



生活道路からの通過交通の排除や安全な歩道の
整備などの交通事故をなくすための安全対策

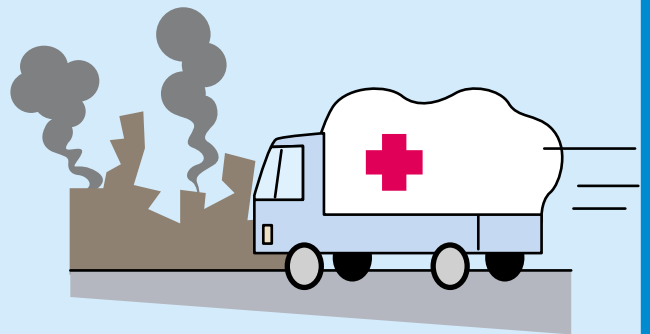
目標3. 環境にやさしい 交通体系の構築

排気ガスの削減や騒音の低減
といった環境への配慮



排気ガスや騒音・振動の低減など、身近な
環境問題から地球環境問題にまで十分な配慮

災害に強い安心できる
都市構造の実現



大震災時においても、安全な避難や
迅速な救援活動が行えるような道路整備

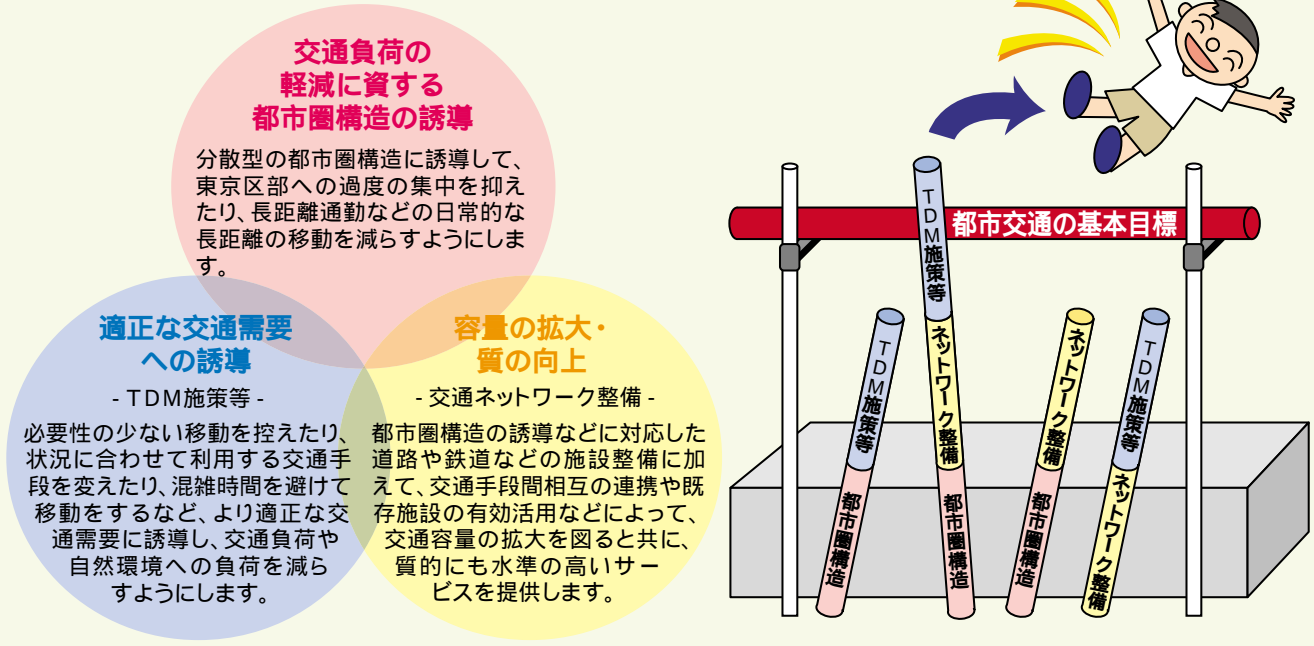
3 基本的な考え方



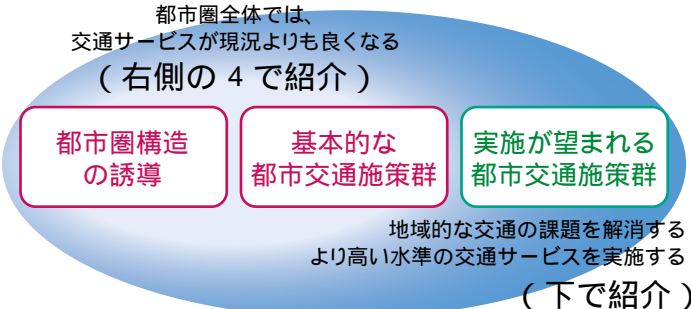
3つの基本目標をバランスよく達成させる「望ましい総合都市交通体系のあり方」とはどのようなものかみてみよう。

バランスの良い、総合的な取り組みが重要

都市交通の3つの基本目標を達成するためには、これまでのように、交通需要(人や物の動き)に対して、主に供給面(施設の整備)で対応する考え方から、下の3つの取り組みをバランス良く総合的に取り組んでいく必要があります。下のうち、どれか1つでも欠けてしまった場合には、基本目標を達成することができません。



右側の4で紹介している「基本的な都市交通施策群」がすべて実施できれば、都市圏全体では、交通サービスが現況よりも良くなるのじゃ。さらに、地域的な交通の課題を解消したり、より高い水準の交通サービスを実現するためには、下に挙げるような取り組みも重要なのじゃ。



実施が望まれる都市交通施策群

- 交通ネットワーク整備
 - ・広域連携拠点の環状道路の整備
 - ・広域連携拠点の鉄軌道間を補完する公共交通ネットワークの整備 など

- TDM施策等
 - ・都市圏中心部での自動車料金施策(ロードプライシング)の導入
 - ・都市圏中心部での駐車マネジメントの導入 など

[用語の解説]
 バリアフリー:歩道の段差や勾配の解消など、高齢者や障害者の日常生活の妨げとなるさまざまな障害(バリア)を取り除くことです。
 ユニバーサルデザイン:障害者、高齢者、健常者の区別なく、誰もが分け隔てなく「使える」「通れる」「住める」ように、商品や施設等の設計、デザインをすることです。バリアフリーの考え方をさらにすすめたものです。
 広域連携拠点:横浜・川崎、浦和・大宮、千葉、厚木、町田・相模原、八王子・立川・多摩、青梅、春日部・越谷、柏、成田、木更津を指します。
 SOHO:スモール・オフィス、ホーム・オフィス (Small-Office, Home-Office)の略。自宅の近くでの小さな事務所の開設や在宅勤務などによる職住近接型の職場形態を指します。
 フリンジ駐車場:都心部への車の乗り入れを抑制することを目的として、都心部の混雑地区の外周部に計画的に配置された路外駐車場のこと。駐車マネジメント:駐車場の整備や管理、規制により、都心の混雑地区での駐車を調整したり、違法駐車を防止することです。

望ましい総合都市交通体系のあり方

4 「都市圏構造の誘導と基本的な都市交通施策群」の組み合わせ

交通ネットワーク整備

< 道路の整備 >

- 都市圏の高規格幹線道路等の整備
- 都市間及び市街地内の幹線道路の整備
- 交差点改良、連続立体交差化の推進
- 歩行者・自転車空間の整備
- 沿道環境の改善

< 公共交通の整備 >

- 鉄軌道ネットワークの整備
- 高速バスの導入
- 鉄道輸送力の増強と運行サービスの改善
- 水上バス等の水上交通の強化

< その他 >

- 結節点等へのアクセスの強化
- バリアフリー化、ユニバーサルデザインの推進
- 防災や避難・救援活動等への対応

TDM施策等

< 交通行動の変更に関する施策 >

- フレックスや時差出勤の推進

< 自動車の利用に関する施策 >

- 業務用自動車の自宅への持ち帰りと出勤での利用の自粛の推進
- 相乗りなどの自動車共同利用の推進
- 低公害車の普及の推進
- 自動車専用道路での弾力的な料金体系の導入
- フリンジ駐車場等の整備

< 公共交通利用の推進に関する施策 >

- スムーズな乗り換えサービスの推進
- 主要鉄道駅での乗り換え利便性の改善
- パーク&ライドの推進
- パーク&高速バスライドの推進
- 駅前広場、駅周辺での駐輪場等の整備
- 循環バスなどのきめ細かなバスサービスの提供
- バス専用レーン設置などのバス走行環境等の改善

< 自転車利用の推進に関する施策 >

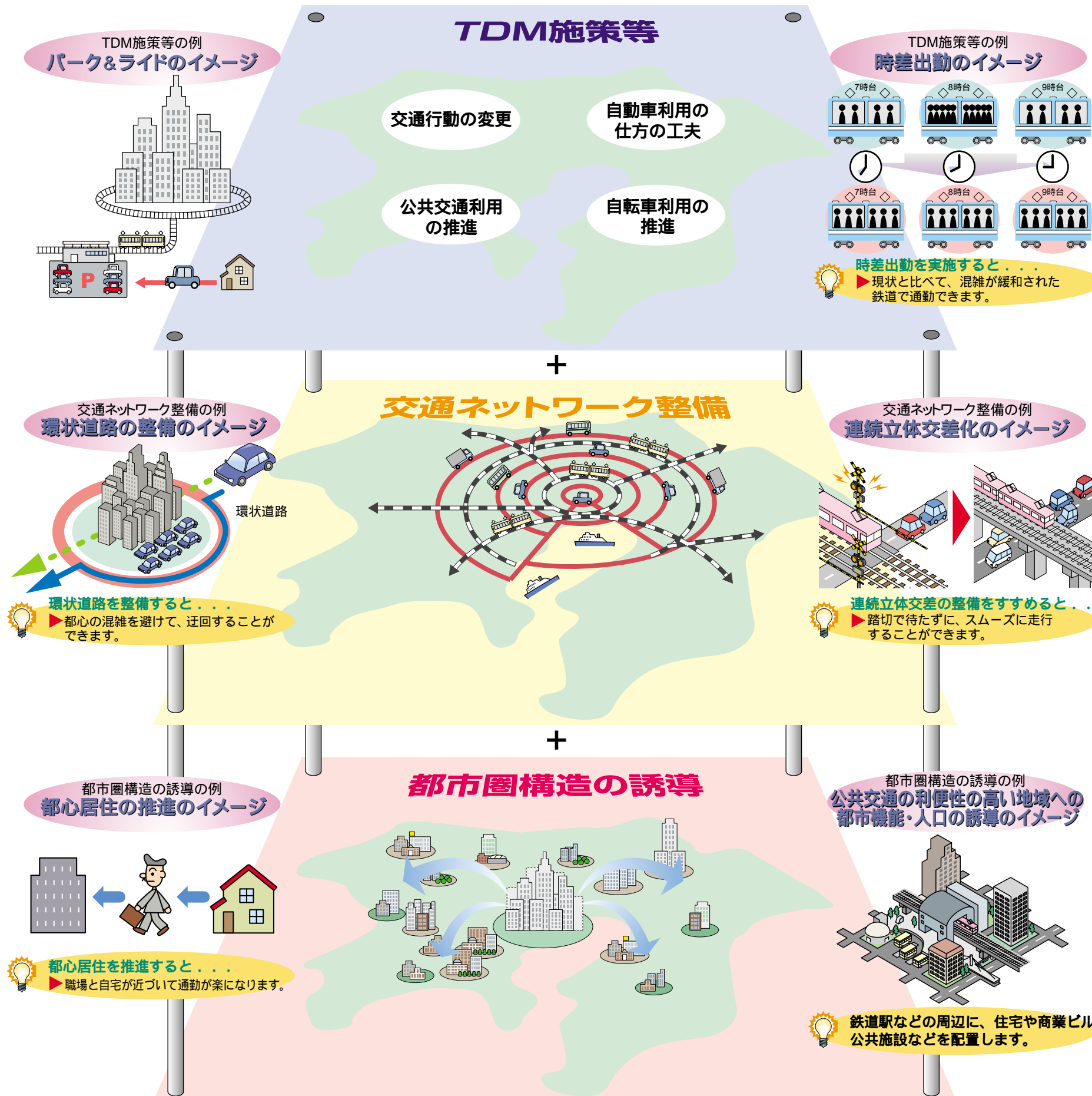
- 短距離移動での自転車利用の推進

< その他 >

- 荷さばき施設等の整備
- 情報技術を活用した交通情報等の提供
- 路上駐車規制、取り締まりの強化
- 交通安全対策の強化

● TDMとは...

「交通需要管理」を意味する英語Transportation Demand Managementの頭文字をとってTDMといいます。車の利用者の交通行動の変更を促すことにより、都市または地域レベルの交通渋滞を緩和する手法です。TDMは、交通混雑の緩和だけでなく、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出などの環境負荷の抑制等も期待されます。



都市圏構造の誘導

分散型ネットワーク構造の誘導に資する骨格的道路や鉄道等の整備

広域連携拠点等への都市機能の誘導

都心居住の推進

公共交通の利便性の高い地域への都市機能・人口の誘導

SOHOの推進

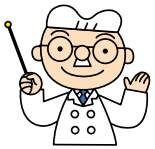
密集市街地等での計画的再編整備

市街地の無秩序な拡大の抑制

● 都心居住を推進すると...
▶ 職場と自宅が近づいて通勤が楽になります。

● 鉄道駅などの周辺に、住宅や商業ビル、公共施設などを配置します。

5 「都市圏構造の誘導と基本的な都市交通施策群」の効果



4 を実施すると、これからのくらしがどう変わるかみてみよう。

・下で整理している数値は、①～④は現状を1.0(=100%)、⑤は1990年を1.0(=100%)としたときの比率同士を比べています。
 ・下で整理している効果は、左側の④で整理している施策のすべてを考慮しているわけではありません。



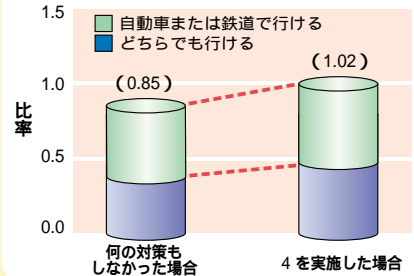
お父さん
とき夫さん

仕事でよく行くような、
大きな街に速く行けるようになるんだ。



東京都市圏の活発な活動を支えている、広域的な都市活動の拠点である広域連携拠点まで30分で到達できる人数は、何の対策もしなかった場合と比べて17%も増えるんじや。これは、およそ410万人に相当するんじや。

① 広域連携拠点まで自動車または鉄道で30分以内に到達可能な人数



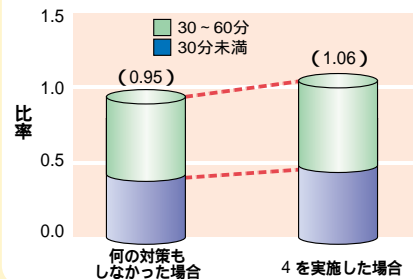
お姉さん
さい子さん

インターチェンジや、主な鉄道駅、
空港などに速く行けるようになるのね。



東京都市圏と国内外の他地域との広域的な交流の拡大が予想されるなかで、広域アクセス拠点まで60分で到達できる人数は、何の対策もしなかった場合と比べて11%も増えるんじや。これはおよそ350万人に相当するんじや。

② 広域アクセス拠点まで60分以内に到達可能な人数



注)広域アクセス拠点は、羽田空港、成田空港、新幹線停車駅としています。



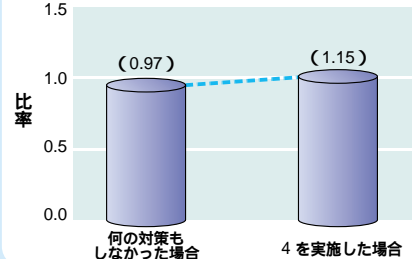
お母さん
かゆ子さん

何か災害が起こったときでも、
救助活動の移動性が改善されるのね。



災害時であっても比較的移動が可能な多車線道路(4車線以上の道路)によって、最寄りの広域連携拠点から救助をうけられる人が、何の対策もしなかった場合と比べて18%増加するんじや。これは、およそ180万人に相当するんじや。

③ 災害時に広域連携拠点から救助をうけられる人数



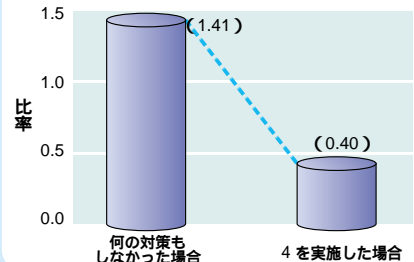
おばあさん
いほ美さん

電車に乗ったときに、手すりにつかまれたり、
座れるようになるときが増えるのね。



ピーク時に混雑率が150%以上の鉄道に乗車している時間は、何の対策もしなかった場合と比べて大幅に少なくなるんじや。例えば、電車で60分乗ったときに、混雑している時間が、何の対策もしなかったら44分だが、それが19分に短くなるんじや。

④ ピーク時に混雑率150%以上の鉄道に乗車している時間



注)混雑率150%とは、「肩がぶれあう程度で新聞は楽に読める」状況です。



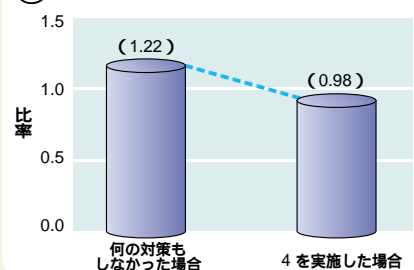
弟
ちぼくん

みんなが安心してらせるような
地球環境をこれからも大事にしていくんだね。



東京都市圏の持続可能な発展に向けて、自動車による二酸化炭素の排出量は、何の対策もしなかった場合と比べて24%も少なくなるんじや。

⑤ 自動車による二酸化炭素の年間排出量



6 「望ましい総合都市交通体系」の実現に向けて

わたしたち東京都市圏交通計画協議会は、今後、「望ましい総合都市交通体系」を実現するため、特に以下のようなことに取り組んでいきたいと考えています。

1)関係する計画への反映

構成団体の計画や、関係する地域計画などへ反映するよう働きかけていきます。

2)具体的な施策についての研究

このパンフレットで紹介したいいくつかの施策について、施策を実現するための制度やよりよい施策のあり方について、研究をすすめていきます。

3)PRの実施

提案した施策の内容や効果について、みなさんや関係機関のご理解を深めていただくために、これからもいろいろな情報を提供していきます。

—そして、何よりもみなさんの協力が必要です。

それぞれの施策を実現するためには、何よりもみなさんの協力が必要となります。道路の渋滞や鉄道の混雑などのいろいろな交通問題や、自然環境問題に対応するためにも、みなさん自身の交通について考えてみてはいかがでしょうか。例えば、自動車の利用をみなさんが少しずつ減らしていけば、都市圏全体では非常に大きな効果になります。

今回の、わたしたち協議会の提案がきっかけとなって、協議会と関係機関と、そしてみなさんの協力によって、よりよい「東京としけんのあすの交通」が実現できるように活動していきます。

私たちも協力します。



問い合わせ先

このリーフレットについてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

国土交通省関東地方整備局企画部広域計画課
(TEL 048-600-1330, FAX 048-600-1373)

埼玉県国土整備部都市計画課
(TEL 048-830-5343, FAX 048-830-4881)

東京都都市計画局施設計画部交通企画課
(TEL 03-5388-3283, FAX 03-5388-1354)

横浜市企画局企画調整部総合交通計画課
(TEL 045-671-4086, FAX 045-662-7362)

千葉市都市局都市部都市計画課
(TEL 043-245-5306, FAX 043-245-5627)

日本道路公団東京建設局建設第一部企画調査課
(TEL 03-5418-2001, FAX 03-5418-2050)

茨城県土木部都市局都市計画課
(TEL 029-301-4592, FAX 029-301-4599)

千葉県都市部都市政策課
(TEL 043-223-3166, FAX 043-225-4012)

神奈川県国土整備部都市計画課交通企画班
(TEL 045-210-6182, FAX 045-210-8879)

川崎市まちづくり局計画部交通計画課
(TEL 044-200-2034, FAX 044-211-7353)

都市基盤整備公団都市整備部事業計画課
(TEL 03-3263-8392, FAX 03-3263-8188)

首都高速道路公団計画部調査課
(TEL 03-3539-9408, FAX 03-3502-2412)

東京都市圏交通計画協議会ホームページアドレス <http://www.ijjnet.or.jp/tokyo/pt/>



古紙配合率100%再生紙を使用しています